

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本

2026年本屋大賞

# 本屋大賞



『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ (日経BP)

日本経済新聞出版

『熟柿』

佐藤正午 (KADOKAWA)

2位

『PRIZE—プライズ—』

村山由佳 (文藝春秋)

3位

『エピクロスの処方箋』

夏川草介 (水鈴社)

4位

『暁星』

湊かなえ (双葉社)

5位

『殺し屋の営業術』

野宮有 (講談社)

6位

『ありか』

瀬尾まいこ (水鈴社)

7位

『探偵小石は恋しない』

森バジル (小学館)

8位

『失われた貌』

櫻田智也 (新潮社)

9位

『さよならジャバウオツク』

伊坂幸太郎 (双葉社)

10位

# 2026

Supported by



手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。

2024年12月〜2025年11月に刊行された  
日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで  
いちばんお勧めしたいと思った作品です。  
全国の書店員の投票で  
選ばれたベスト10